

## 2024\_0105「やっと出会えた雪景色（写真）」日々の理科 3438号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

20年前の北軽井沢は、12月中旬には雪が積もり始め、大晦日や元日は必ず雪景色になっていました。しかしここ数年は、12月になっても雪が降らず、元日も全く雪のない年が続いていました。この大晦日にも雪ではなく雨が降りました。標高1100m以上の高原で、12月下旬に雨が降るのは、本来考えられないことです。これは「異常気象」ではなく、もはや「気候変動」の一現象なのでしょう。

今年の1月2日になって雪が降り、北軽井沢もやっと雪景色になりました。しかし翌日は晴れて、せっかく積もった雪もほとんど融けてしまいました。20年前のように60cm近くも雪が積もることは、今後もうなさそうです。

(2024年1月上旬／北軽井沢)

